

むつ下北支部活動報告

広報・情報委員会 井澤 健一

今回は11月、12月に行われた講演会についてご報告します。

「青森県の福祉行政について」

令和元年11月29日（金）に行なわれた講演会では、青森県議会議員に初当選された山本知也先生をお迎えし、青森県の福祉行政についてお話し頂きました。

講演会の中で、青森県基本計画「選ばれる青森」への挑戦の5つの戦略プロジェクトの中の「多様なしごと創出プロジェクト」では「新しい薬剤師の人材創出事業」を今年度目玉事業として、薬剤師人財を確保するため、高校生、大学生を対象とした情報発信等や、県外で勤務する薬剤師のUIJターン促進に取り組んでいるとの事でした。

青森県の薬剤師数は全国ワースト2位で少ないのが現状です。西北五、上十三、下北地域は特に足りておらず、日々の業務でも私自身痛感しております。

2025年には後期高齢者人口が約2,200万人に膨れ上がり、国民の4人に1人が75歳以上になる計算で、医療従事者不足による医療の質の低下にもつながりかねない事を改めて感じる講演でした。



「飲食物・嗜好品との薬物相互作用に関する最新の知見」



令和元年12月7日（土）に、秋田大学医学部附属病院薬剤部講師・副薬剤部長の赤嶺由美子先生にご講演頂きました。

多剤併用による薬物間相互作用はもちろんのこと、患者さんとしては飲食物・嗜好品との飲み合わせも気になる患者さんも多くいらっしゃいます。

今回の講演会では、グレープフルーツジュースと薬剤の相互作用について主にお話頂きました。Ca拮抗薬をはじめ、グレープフルーツジュースとの相互作用がある薬剤が多々ある中で、

CYP3A4の抑制による作用増強、トランスポーターOATPの抑制による吸収量低下などについて、一概にグレープフルーツジュースとの飲み合わせは駄目という事ではなく、量や時間、又、バイオアベイラビリティから見る相互作用の強弱からの薬学的判断について、様々なデータをお示し頂き詳しく学ぶことができました。

